

波形生成も 計測も 解析も Moku 1台でOK!

マルチ計測デバイス Mokuシリーズ

フラッグシップモデル
Moku:Pro



ラボ用スタンダードモデル
Moku:Lab



バジェットフレンドリーモデル
Moku:Go



導入コスト
設置スペース
セットアップ時間の
削減に

マルチ計測デバイス Mokuシリーズとは？

1台で最大14種類の計測機能が使用できる、オールインワンのテストデバイスです。

FPGA (Field-Programmable Gate Array) ベースのデバイスにより、

柔軟性

必要な時に必要な機能が
1台で使える

カスタマイズ性

複数機能を同時に実行、
ユーザー自信で自由に組み合わせ可能

拡張性

デバイス購入後でも簡単に
アップグレード可能

を、Mokuシリーズは実現します。



Mokuシリーズ 6つの強み



最大14種類の機能を
ソフトウェアでシームレスに切り替え



複数機能を同時に実行



数日ではなく
数分でテストシステムを構成



Mokuデバイスを
ワイヤレスでも制御可能



無線による、計測機能の追加、
ソフトウェアアップデート



1台に最大14種類の機能を搭載可能
なため、設置スペースの削減に

最大14種類の計測機能



オシロスコープ

電気信号の時間に対する変化を視覚化し、波形として表示。



スペクトラムアナライザ

電気信号を、周波数毎の信号強度に分解・表示。



データロガー

長期間にわたり、データを自動記録。



ロックインアンプ

弱い信号を、強いノイズの中から抽出するための、高度な測定技術。



周波数応答アナライザ

システムやコンポーネントの、周波数応答特性を測定。



デジタルフィルタボックス

デジタル信号処理を使用して、望ましくない周波数成分を信号から除去。



ロジックアナライザ & パターンジェネレータ

デジタルシステムの信号を解析し、タイミングやプロトコルの問題を診断。
パターンジェネレータはテストパターンを生成。



ファンクションジェネレータ

様々な波形（正弦波、矩形波、三角波など）を生成。



任意波形発生器

ユーザーが指定した、任意の波形を生成。



フェーズメーター

信号の位相を測定。



レーザーロックボックス

レーザーの波長を安定させる。



PIDコントローラー

比例、積分、微分の3要素を用いて制御。



FIR フィルタービルダー

有限インパルス応答（FIR）フィルターを設計・実装。



タイム&周波数アナライザ

信号の時間と、周波数領域ドメイン特性を、同時に測定。

その他の機能



マルチインストルメントモード

14種類の計測機能の中から、最大4つの機能を、ユーザー自身で自由に組み合わせ、また同時に実行可能。

※ Moku:Pro：最大4機能

※ Moku:Lab / Moku:Go：最大2機能



Moku Cloud Compile

FPGAに直接アクセスし、ユーザー自身でプログラミングが可能。ブラウザから直接コーディング、コンパイル、デプロイでき、数か月かかるカスタム機能の開発・実装も、数分で完了。



プログラマブル電源（Moku:Goに搭載）

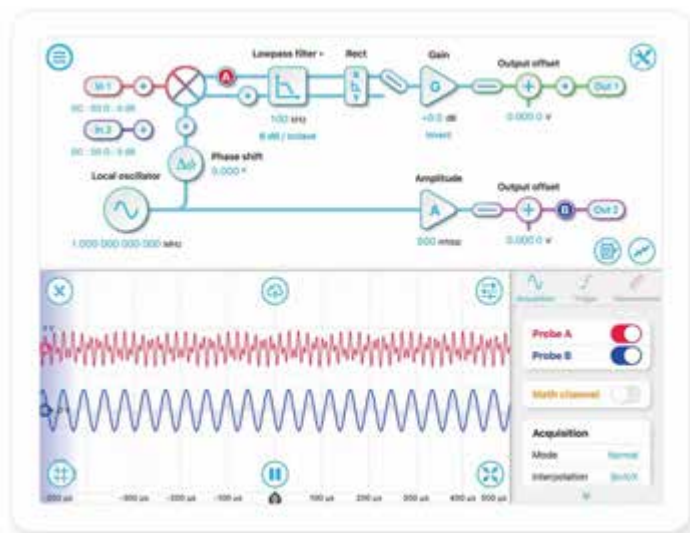
メインの測定機能からは独立したユーティリティで、オペアンプの特性評価、LED/LDの電源供給などの用途でお使いいただけます。


出力電圧と電流レベル ● 1ch: -5~+5 V | 0~150 mA ● 2ch: 0~+16 V | 0~150 mA ● 3/4ch: 0.6~+5 V | 0.07~1 A

直感的で、 操作性に優れた GUI

各計測機能のインターフェースは、テストと測定のユーザーエクスペリエンスを向上させるように設計されています。ユーザーフレンドリーな GUI により、直感的で使いやすく、初めてお使いになる方でも簡単に操作することが可能です。

また定期的にソフトウェアアップデートをリリースしています。新しい機能の追加や改善を行うことで、Moku アプリはより使いやすいソフトウェアへ進化し続けます。



	バジェットフレンドリーモデル Moku:Go	ラボ用スタンダードモデル Moku:Lab	フラッグシップモデル Moku:Pro
モデル			
アナログ入力	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 チャンネル ● 12 bit ● 125 MSa/s ● 帯域幅 30 MHz ● 1 MΩインピーダンス ● AC/DC カップリング ● 入力範囲 ± 25 V 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 チャンネル ● 12 bit ● 500 MSa/s ● 帯域幅 200 MHz ● 50 Ω / 1 MΩインピーダンス (切り替え可能) ● AC/DC カップリング ● 入力範囲 ± 5 V 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4 チャンネル ● 10+18 bit ● 5 GSa/s ● 帯域幅 600 MHz ● 50 Ω / 1 MΩインピーダンス (切り替え可能) ● AC/DC カップリング ● 入力範囲 最大 ± 20 V
アナログ出力	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 チャンネル ● 12 bit ● 125 MSa/s ● 帯域幅 20 MHz ● 出力範囲最大 ± 5 V 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 チャンネル ● 16 bit ● 1 GSa/s ● 帯域幅 300 MHz ● 出力範囲 ± 1 V (50 Ω 出力) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4 チャンネル ● 16 bit ● 1.25 GSa/s ● 帯域幅 500 MHz ● 出力範囲 ± 5 V (50 Ω 出力)
デジタル入出力	<ul style="list-style-type: none"> ● 16 チャンネル DIO ● 125 MSa/s ● 3.3 V ロジックをサポート (5 V トレラント) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専用 TTL トリガーポート 	
インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> ● USB-C ● Ethernet (M2 モデルのみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● USB-miniB ● SD カードスロット ● Ethernet 	<ul style="list-style-type: none"> ● USB-C ● 10 MHz 基準クロックの入出力 ● Ethernet
ソフトウェア & ユーティリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows, MacOS, iPadOS アプリ ● Python, MATLAB, LabVIEW の API サポート 		

記載内容および画像の転載、複製、加工などは禁止です。また、記載内容は予告なく変更することがあります。ご了承ください。 Ver.1.0_2504